

JENESYS 2.0 インドネシア大学生の来日(テーマ:防災)

1. プログラム概要

JENESYS2.0の一環として、クールジャパンを含め、我が国の強みや魅力、日本人の価値観への理解促進を目的として、3月13日から3月20日までの7泊8日の日程で、インドネシアから25名が来日し、防災をテーマとしたプログラムに参加しました。

2. 参加国・人数

インドネシア (25名)

3. 訪問地

東京都、千葉県

4. 防災コース概要

様々な分野で高い評価と注目を集める「クールジャパン」に直接触れ、日本についての理解を深めることを目的とした様々なプログラムに参加しました。東京都内では、歴史・文化や防災関連施設を視察しました。また、千葉県では、地方自治体表敬、地元企業視察及び大学生との交流を行ったほか、防災関連企業視察や東日本大震災からの復興の様子を見学しました。

5. 防災コース目的

防災活動に取り組むインドネシアの大学生が、東日本大震災からの復興の様子を視察し、地域の人々との意見交換や交流を通じ、日本の強みや魅力、日本的な「価値」に関する理解と関心を深め、自国に戻り、こうした日本の魅力を積極的に対外発信することにより、インドネシアにおける対日関心度が一層高まることが期待されます。

6. 日程

3月12日（水）～ 3月13日（木）

成田国際空港から入国，来日時オリエンテーション
江戸東京博物館、東京臨海広域防災公園視察

3月14日（金）～3月16日（日）

千葉県へ移動
株式会社ウェザーニューズ視察及び社員交流、ホームステイ
銚子市へ移動

3月17日（月）～3月18日（火）

銚子市役所表敬、ヤマサ醤油株式会社工場見学、銚子ちぢみ伝統工芸体験、
旭市役所訪問、旭市東日本大震災被災地視察、いいおか津波語り継ぐ会講演、
銚子市民交流会、千葉科学大学見学及び学生との交流

3月19日（水）

東京へ移動
明治神宮、原宿視察、株式会社ノボル電機製作所社員との交流、
報告会（訪日成果・帰国活動計画発表）

3月20日（木）

成田国際空港から出国

7. 写真

	
<p>3月12日 江戸東京博物館視察</p>	<p>3月12日 東京臨海広域防災公園視察</p>
<p>March 12th Edo Tokyo Museum</p>	<p>March 12th Tokyo Rinkai Disaster Prevention Park</p>
	
<p>3月12日 もんじゃ焼き体験</p>	<p>3月13日 株式会社ウェザーニューズ視察</p>
<p>March 12th Cooking Monjya-yaki</p>	<p>March 13th Weathernews Inc.</p>
	
<p>3月16日 ホームステイ家族と共に</p>	<p>3月17日 銚子市役所表敬</p>
<p>March 16th Homestay</p>	<p>March 17th Courtesy Call at Choshi City Hall</p>



3月17日 ヤマサ醤油株式会社工場見学
March 17th YAMASA CORPORATION Factory



3月17日 銚子ちぢみ伝統工芸体験
March 17st Choshi Chijimi dyeing



3月17日 銚子市民交流会

March 17st Gathering with Choshi citizens



3月18日 旭市東日本大震災被災地視察
津波避難タワーにて

March 18th Asahi-shi, Tsunami Evacuation Tower



3月18日 千葉科学大学学生との交流
March 18th Chiba Institute of Science



3月19日 報告会
March 19th Reporting Session

8. 参加者の感想（抜粋）

◆今回の訪問を通じて、もっとも印象に残ったこと、帰国後伝えていきたいこと

・地震や津波の後、インフラや建物の回復するのがとても速いこと、日本人の自然災害に対する用意周到な姿勢はとても素敵だと思いました。高層ビルにおいて、地震の際の揺れを少なくするために、多くの柔軟な素材や特別な基礎を使っていました。また、津波避難地図を作り、全住民にその地図を配っていました。それによって、住民は避難経路を把握することができ、安全な場所に行くことができます。早期警告システムを構築しており、津波の際に避難できるタワーも作られています。帰国したら、日本で得た全てのこと、特に防災対策や防災の意識の高さ、日本人の生活（文化、人々の振る舞い）などを、地域の人々に伝えたいと考えています。インドネシアの人々にクールジャパンを伝え、インドネシアと日本の両国の関係がさらに強くなることを願っています。

・日本を訪問できたことを大変うれしく思います。日本に滞在して、日本の文化、技術、地域構造、災害からの復興、食べ物、人々など多くのことに感動しました。技術においては、日本は必要に応じた多くの物を作ることができます。日本は独自の人工衛星を打ち上げています。WNIS という人工衛星は、天候に関する多くの情報や地球に関するありとあらゆる情報を集めることができます。もしインドネシアにこのような人工衛星があれば、さらに多くのことが可能になると感じました。

・日本の滞在から、日本人は優しく、フレンドリーで、お互いに礼儀正しく、同様に外国人に対しても礼儀正しいと感じました。時間を守り、明日の計画を立てているにも関わらず、窮屈に感じるのではなく人生を楽しんでいる様に感じました。

・日本滞在期間中に、最も感銘を受けたことは、伝統文化を尊重しつつモダンな面を上手く融合し、それがクールジャパンを作りだしていることです。この伝統とモダンが上手く融合している日本文化は、世界中でもとてもユニークな文化として認識され、また最も人気のある国の 1 つになっている理由だと考えます。日本での滞在を通して、以下のことを伝えたいと思います。「日本は必ず訪問すべき国であり、日本文化のユニークさを体験することはとても楽しいことです。」。